平成28年度行政評価 事務事業評価シート（平成27年度実績）

事務事業コード	020104030	予算コード	01050500	従事人員（人）		投入コスト（千円）		評価	評価点
事務事業名	小学校介助事業			正規職員数	0.3	国庫支出金		有効性	A
担当課	学校教育課			嘱託職員数	0	府支出金	1,392		
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数	0.03	市債		効率性	B
	■要綱・要領			歳出（千円）		その他			
	泉佐野市人権教育の基本方針			人件費総額	2,580	一般財源	66,005	妥当性	B
						減価償却費	0		
						事業費	64,817	受益者負担	該当なし
事務事業類型	運営事業			フルコスト（千円）			67,397	緊急性	C
実施手法	市直営			市民1人当りコスト（円）			668		
対象				活動指標		H27実績		公的関与	A
特定の市民		対象数	136	障害児介助員		66.0			
小学生の要介助者				外国人介助員		2.0		実施主体・委託化	A
事業の内容									
小学校介助事業として以下のように実施している。 ①障害のある子どもに対する介助 ②介助については、身辺自立ができない、安全確保が困難である等、教育的配慮の要する子どもに対しての措置 ③外国からの転入生による受入のため、通訳の配置								他の事務事業との関連	A
				成果指標		H27実績		透明性	A
				要介助障害児		133.0			
				要外国人介助者		3.0		財政健全化計画	該当なし
								財政健全化の取組	該当なし
				コスト指標		H27実績		改革改善プラン達成度	該当なし
事業の目的				介助者一人当たり経費		495,566.1			
障害等で配慮の要する子どもへの身辺介助等をする。									

一次評価	A
介助が必要な児童生徒は年々増加している。様々なケースがあるためきめ細やかな充実した介助が必要なため。	

事務事業実施内容
介助員の配置